

春日神社拝殿―橿原市鳥屋町で

やまとの神さま

春日神社（橿原市）



絶景と調和 往時を思う

春日神社は、橿原市南部の鳥屋町にあります。

周辺には5世紀から7世紀にかけてつくられた新沢千塚古墳群があり、社殿の建つ高台にも前方後円墳や円墳が密集しています。

創建時期は不詳ですが、元はすぐ南の方墳としては国内最大級の桝山古墳の墳丘上に建っていました。1887（明治20）年、同古墳が第11代垂仁天皇の弟・倭彦命の身狭桃花鳥坂墓に治定されると、社殿は八王子社があった現在の場所に移転されました。祭神は天児屋根命と倭彦命で、それまでの八王子社は摂社となりました。

拝殿は切り妻造・桟瓦（平瓦と丸瓦が一体化した波形瓦）ぶきです。本殿は春日造（正面の柱間が一つで、切り妻屋根で棟と直角な面に入り口がある様式）で、拝殿とはつなぎ廊で結ばれ、三方向が土塀で囲まれています。境内には江戸時代の天保年間に奉納された手水鉢や石灯籠、明治時代に寄進された石鳥居が見られます。

社殿が建つ高台一帯は「御城山」と呼ばれ、中世に南大和で勢力を誇った豪族・越智氏に属した鳥屋氏の城がありました。境内からは越智氏の居城があった貝吹山や丘陵が一望でき、往時に思いをはせながら景色を楽しむことができます。

（奈良まほろばソムリエの会会員　平井真知子）

（住所）橿原市鳥屋町42の13
（祭神）天児屋根命、倭彦命
（交通）近鉄橿原神宮西口駅から徒歩約20分
（拝観）境内自由
（駐車場）なし（電話）なし